

平成24年度 シラバス	学年・期間・区分	1年次・通年・A群	
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 都市環境デザイン工学科	
英語 I (English I)	担当教員	坂元 真理子 (Sakamoto, Mariko) 佐藤 哲三 (Sato, Tetsuzo)	
	教員室	坂元: 図書棟2階 (TEL: 42-9067) 佐藤: 学生共通棟1階 非常勤講師控室 (TEL: 42-2167)	
	E-Mail	坂元: sakamoro@kagoshima-ct.ac.jp 佐藤: ttz-satou@healthcare-m.ac.jp	
教育形態/単位の種別/単位数	講義 / 履修単位 / 2単位		
週あたりの学習時間と回数	[授業 (100分)] × 30回		
[本科目の目標] 英文を読む・書く・聞く・話すための力を伸ばす。辞書を活用して自力で英文読解や英作文ができることをめざす。英語を使った学習活動を通して社会や自分のことに目を向け、考える力をつける。			
[本科目の位置付け] 中学3年間で習得しているべき基礎英語力が必要である。本科目を履修し、英語IIにつなげる。			
授業項目、達成目標、学習内容について英文法Iと連携をとりながら進めていく。			
[学習上の留意点] 英和辞典を持参すること。予習・復習を十分に行い、語彙力・構文理解力の強化と内容理解に努めること。			
[授業の内容]			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. 辞書の使い方	常時	<input type="checkbox"/> 辞書の特徴と使用方法について理解し、学習に役立てることができる。	各項目について授業内で指示を行う。
2. 語彙		<input type="checkbox"/> 授業で扱われた語彙の意味を理解し、聞き取りや読み役に役立てることができる。 <input type="checkbox"/> 授業で扱われた語彙を使って話したり書いたりできる。	
3. 聞くこと		<input type="checkbox"/> 英語を聞いて、語句や文を正しく聞き取ったり、必要な情報を得たりできる。	
4. 読むこと		<input type="checkbox"/> まとまった量の文章を文の構造を捉えながら読み、必要な情報を得たり、概要や要点をまとめたりすることができる。 <input type="checkbox"/> 接続詞や語彙を手がかりに文同士の関係を捉えて読むことができる。 <input type="checkbox"/> 目的や状況に応じて、音読や黙読など、適切な読み方をするすることができる。	
5. 話すこと		<input type="checkbox"/> 英語を聞いたり読んだりしてその内容を正しく再生したり質問に英語で正しく答えることができる。	
6. 書くこと		<input type="checkbox"/> 英語の文や語句を、構造や文型に気をつけて正しく書くことができる。 <input type="checkbox"/> 質問の答えや聞いた内容を正しく書くことができる。	
注) 授業項目1~6については、毎回の授業で繰り返し取り扱う。			
7.S+V 8.S+V+C 9.S+V+O 10.S+V+O+O 11.S+V+O+C	7	<input type="checkbox"/> 五文型の基本的な構造と性質について理解し、適切に使用することができる。	各項目について授業内で指示を行う。
12. 受動態  --- 前期中間試験 ---	7	<input type="checkbox"/> 受動態と能動態の関係について理解し、適切に使用することができる。  授業項目1~4,7~12について達成度を確認する	
>>> 次頁へつづく >>>			

〔授業の内容〕			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
>>> 前頁からのつづき >>>			
13. 不定詞	7	□ 不定詞の「目的、感情の原因・理由、程度、結果」という用法の違いについて理解し、状況に応じて適切に使い分けることができる。	各項目について授業内で指示を行う。
14. 動名詞	7	□ 動名詞の名詞としての役割について理解し、主語、動詞の目的語、前置詞の後に出現する動名詞の意味と用法について但しく使用することができる。	
--- 前期期末試験 ---		授業項目 1～4, 13, 14 について達成度を確認する	
試験答案の返却・解説	2	各試験において、間違った部分を理解し学習についての振り返りができる。	
15. 関係代名詞	9	□ 関係詞の主格・目的格・所有格、前置詞＋関係代名詞の構造と用法について理解し、正しく使用することができる。	各項目について授業内で指示を行う。
16. 分詞構文	9	□ 分詞構文(現在分詞)の意味について理解すると共に、付帯状況・時・理由・譲歩という4つの用法について理解し適切に使い分けすることができる。	
--- 後期中間試験 ---		授業項目 1～4, 15, 16 について達成度を確認する	
17. 時制	10	□ 過去/現在/未来の完了についてその構造と意味、使用される状況の違いについて理解し、正しく且つ適切に使用することができる。	各項目について授業内で指示を行う。
--- 後期期末試験 ---		授業項目 1～4, 17 について達成度を確認する	
試験答案の返却・解説	2	試験において、間違った部分を理解し学習についての振り返りができる。	
〔教科書〕 「PROVISION ENGLISH COURSE I New Edition」 原口 庄輔 他 桐原書店			
〔参考書・補助教材〕 「be update」 前田道彦 いいずな書店			
「PROVISION ENGLISH COURSE I New Edition ワークブック」 原口 庄輔 他 桐原書店,			
「グランドセンチュリー英和辞典」 木原 研三 監修 三省堂,			
「グランドセンチュリー和英辞典」 小西 友七 監修 三省堂,			
「速読英単語 (入門編)」 風早寛 Z会出版,			
「The Happy Prince」 Wilde, O. Compass Publishing			
〔成績評価の基準〕 定期試験 (60%)+ 平常点 (40%)– 授業態度 (上限 20%)			
〔本科 (準学士課程) の学習・教育目標との関連〕 2-b			
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕			
〔JABEE との関連〕			

Memo

---



---



---



---



---



---



---



---



---



---